

# 市の動き

## 令和7年度中学生サミット

12月26日

令和7年度中学生サミット（リーダー研修会）は、hoKkoで開催されました。

北上市と西和賀町の中学校11校の生徒会役員が参加。生徒会活動をより活発にするため、生徒が主体的に意見を交わしながら、行動する力を育むことを目的としています。

同研修会では、各校が日常の生徒会活動を発表。グループ討議や全体交流では、学校の枠を超えて活発な意見交換が行われました。

川内蜜さん（江釣子中2年）は「他校との交流で新しい発見があり、自己研さんにつながった。今後の活動に生かしたい」と話しました。



## 友好都市・石垣市へ職員派遣

1月7日

沖縄県石垣市との職員人事交流で、企画部総務課の菊池章主査を、1月13日から2月13日まで同市へ派遣しています。

期間中は、石垣島マラソンの運営をはじめ、石垣市の統計事務や都市計画施策に関する業務などに従事します。

7日の辞令交付式で菊池主査は「担当業務の知見を深めながら、石垣市のまちづくりも学びたい」と意気込みを語りました。



**令和7年度北上市技能功労者表彰**  
同表彰は、優れた技能をもって市の産業の発展に功労のあった技能者をたたえるもので、4人が選ばれました。今回で23回目です。  
**令和7年度卓越した技能者の表彰（現代の名工）**  
同表彰は、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を厚生労働大臣が表彰するもので、1人が選ばれました。  
■問い合わせ：産業雇用支援課 72-8242

### 卓越技能功労賞

-45歳以上で、15年以上の実務経験者-



半導体製品製造工  
今松 直樹さん  
(盛岡市・49歳)

設備の故障削減や稼働率の向上に貢献。また、社内外の若年層の育成にも尽力しています。



さく井工  
松本 純さん  
(黒沢尻・53歳)

熟練したボーリング機械の操作技術により、数多くの現場を手掛けています。

### 青年卓越技能功労賞

-25歳以上45歳未満で、3年以上の実務経験者-



電気配線工事作業員  
前川 尚希さん  
(花巻市・30歳)

確かな技術力と精緻な施工で、工事品質の向上に大きく寄与しました。



鋳物製造工  
茂庭 明香さん  
(柳原市・39歳)

鋳造方案の技能に優れ、その経験と研究から、革新的な湯流れ解析手法を確立しました。

### 卓越した技能者（現代の名工）



表具師  
佐藤 治さん  
(上野町・70歳)

他の表具師では困難な修復を手掛け、文化財の保護・修繕に大きく貢献しています。

## 優れた技能と功績を顕彰します 北上市技能功労者表彰、卓越した技能者の表彰

【若手県卓越技能者 伊藤勝さん（配管工）】  
昨年の市技能功労者表彰受賞者のうち、3人が令和7年度若手県卓越技能者表彰を受賞しました。

【若手県青年卓越技能者 廣瀬由礼さん（金属溶接工）、高橋知理さん（電気配線工事作業員）】  
昨年の市技能功労者表彰受賞者のうち、3人が令和7年度若手県卓越技能者表彰を受賞しました。

## 夏油の魅力プロデュースしませんか 地域おこし協力隊（夏油アカデミア事業）募集

市では、夏油温泉や夏油高原の豊かな地域資源を生かし、交流人口の拡大と地域活性化を目指す「夏油アカデミア事業」に取り組む人を募集しています。地域の人と交流しながら、新たな観光コンテンツの企画や空き施設の利活用などを通じて、地域の魅力をプロデュースする活動です。

■応募期限：3月6日（金）  
■募集内容や応募要件（居住制限など）の詳細は、市のホームページをご覧ください。  
■問い合わせ：商業観  
光課 72-8240  
市ホームページ



冬期間の経済的負担の軽減を図るため、要件を満たす世帯に対し、灯油、電気、ガス、冬季の生活を支える防寒用品や雑貨類などの購入費の一部を助成します。  
■対象世帯：令和7年12月1日時点で市内に住所を有し、令和7年度の住民税が世帯全員非課税で、次のいずれかに該当する世帯または生活保護を受けている世帯①令和7年12月1日時点で65歳以上の人のみの身体障害者手帳（1級または2級）所持者、療育手帳（A判定）所持者、精神障害者保健福祉手帳（1級）所持者、特別障害者手当（1級）受給者、特別児童扶養手当（1級）受給者、障害基礎年金（1級）受給者、特別障害者手当受給者③児童扶養手当受給者がいる

■助成額：1世帯7,000円  
■申請方法：2月28日（土）当日消印有効までに申請書などを郵送（〒024-8501住所記載不要）で地域福祉課へ※申請書は対象と思われる世帯へ1月から順次送付するほか、同課の窓口または市のホームページから入手できます。※対象世帯で昨年度に同様の助成を受けた人には、同じ口座に振り込みますので、申請は不要です。  
※令和7年1月2日以降の転入者は、令和7年度の住民税が非課税であることの証明書を前住所所地から取得の上、添付してください。  
■問い合わせ：地域福祉課 72-8213  
市ホームページ



## お元気ですか市長です。 ㊥

北上市長 八重樫浩文

東京経由なし人生での「飛翔」



市民の皆様、明けましておめでとうございます。本年が市民一人一人にとって素晴らしい年となりますよう、心より祈念申し上げます。  
今年最初のテーマは「飛翔」です。1月7日時点で、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックスキージャンプ出場有力候補の小林陵侑選手や、昨年度、北上・みちのく芸能まつりに出演いただいたスノーボード出場有力候補の岩淵麗奈選手のゲレンデでの大いなる飛翔、そしてメダル獲得を期待しています。  
さて、昨年末、IBCラジオ番組の「武田鉄矢 今朝の三枚おろし」で、ベストセラー小説「成瀬は天下を取りに行く」を取り上げておりました。昔の地方の若者は東京に憧れたが、同小説の主人公の地元滋賀県大津市こそが世界の中心であり、そこから天下を取りに行くという思考が、今や若者標準的になっているとの趣旨でした。地方から東京経由なしに直接世界に飛翔した若者の象徴的事例として、若手北海道日本ハムファイターズ大リーグの大谷翔平選手を挙げていました。  
このお話を聞いて、確かに、今の若者は私の世代ほど東京や仙台への憧れが大きくないのではないかと思います。それは、インターネットで世界中いつでもどこでもつながることができ、東京は新幹線や深夜バスなどですぐに遊びに行ける一つの選択肢に過ぎなくなりました。普段は地方で生活して、必要な時にピンポイントで都会に出向くことが可能となり、コロナ禍を経て、ますますDXが進展する社会では、地方にいたが世界を相手にした仕事もできる環境になりました。  
昨年、小学生女子ソフトボールのいわききレズも、北上から世界に羽ばたきました。  
新年を迎え、若者の皆さんが北上を基点（起点）に大きく飛翔し、思いっきり活躍することを祈念します。